

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州中野の歴史・自然を体感できる観光情報発信事業
事業主体 (連絡先)	信州なかの観光協会 0269-23-2211
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,152,190円 (うち支援金: 405,000円)

事業内容

○江戸時代の中野市街地の町並みが再現されたジオラマの画像を現在の地図に重ね、史跡や寺社などのスポット紹介や、GPSと連動して現在地が表示できるコンテンツ「信州中野古今マップ」を作成し、信州なかの観光協会ホームページで公開した。

さらに、中野市内の古写真を活用した町歩きマップを作成した。

○観光ガイドの技術や意識向上のための研修を行った。

○モデルコースやビューポイントが掲載されたサイクリングマップを作成した



【ジオラマの撮影】

【目標・ねらい】

- ① 江戸時代の町並と現在の地図を重ねて表示できるコンテンツと、古写真を使ったマップによる町歩き観光の提案
- ② 勉強会や研修を通しボランティアガイドの技術を図る
- ③ サイクリングマップの作成し、自転車での周遊観光を促す

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○「信州中野古今マップ」を公開したことで、中野市の歴史の流れを視覚化してPRすることができるようになった。古写真を使った「信州なかの古今まち歩きマップ」と併せて、訪れた人に現在の中野の景観から歴史の流れを感じられる町歩き観光が提案できるようになった。

○外部講師を招いた勉強会や、他ガイド団体との交流を通して、ボランティアガイドの技術と意識の向上につながった。

○サイクリングマップを作成したことで、自転車による中野市内の周遊を提案と、併せてレンタサイクル事業のPRを行えるようになった。

※自己評価【A】

【理由】・ジオラマや古写真という既存の資源の再活用により、新しい形での町歩き観光のPRができるようになった
・ボランティアガイドの技術と意識向上を図ることができた
・自転車による市内周遊の情報提供が充実した

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○「信州中野古今マップ」と「古今まち歩きマップ」を新しい町歩き観光の提案として、積極的にPR、活用していきたい

○サイクリングマップの活用を通して自転車を使った市内広域観光の推進と、レンタサイクル利用者の増加につなげていきたい

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある